

■魅力ある学校づくり

桂川中学校 校長 石田英喜

現在、家庭教育や地域社会の変化に伴い、学校や地域が直面する生徒の諸問題は、多様なものとなっています。こうした中、中学校における不登校生徒は年々増加し、将来の社会的自立にとって、大きな課題となっています。桂川中学校におきましても、同様の課題を抱えております。

そこで、不登校の未然防止、生徒の豊かな人間性や自ら学び、自ら考える力など「生きる力」の育成を目標に、「魅力ある学校づくり」を推進します。

具体的には、「生徒が通いたい学校、保護者の方々が通わせたい学校づくり」を目指して以下の三点の取り組みを進めて参ります。

一点目は、生徒が授業に主体的に取り組むことのできるよう、日々の授業改善に取り組みます。

二点目は、一人一人が高い自尊感情を持ち、自信や夢をもって生活することができる学校を目指し、自尊感情の伸長を図ります。

三点目は、お互いの個性や生き方が尊重され、安心して生活することができる学校を目指し、温かい人間関係の構築を図ります。

このような取り組みにおいて本年度も福岡県が推奨する「鍛ほめメソッド」を活用しながら魅力ある学校づくりに努めて参ります。

どうか頑張る生徒達に地域の方々から温かい励ましの言葉を頂ければと思います。今年も桂川中学校をよろしくお願いたします。

■小学校教育とのつながりを

大切にしたい幼稚園教育を

桂川町立幼稚園 園長 城石俊弘

4月に10名の新入園児を迎え、ちゅうりっぷ組(3歳児)7名、たんぼぼ組(4歳児)14名、ひまわり組(5歳児)12名で新年度がスタートしました。新型コロナウイルス感染症の心配が続く中、本年度も感染予防対策をしながら、様々な園行事、日常の教育活動の充実を図りたいと考えています。

本園では、本年度の教育目標を「元気で友だちと協力して遊べる子どもの育成」とし、「健康で健やかに育ち元気に遊べる子ども」、「友だちの喜びや悲しみがわかる思いやりのある子ども」、「人の話をよく聞き、自分の思いを言える子ども」の育成を目指します。

特に本年度は、小学校の学習や生活へのスムーズな接続を図るため、5歳児と小学生との交流活動の工夫や5歳児につなぐ、3歳児、4歳児のカリキュラムの見直しに力を入れます。

一昨年度から取り入れているワークブックを活用した数の概念を育むための指導に加え、本年度は子どもの知識をまとめ、広げる「がくしゅうあそび」のワークブックも取り入れる予定です。指導に当たっては、小学校低学年における授業の進め方を少しずつ取り入れ、園長が中心となって、担任と協力し、複

数教師の体制できめ細やかに行うようにしています。

このような取組の積み重ねにより、園児が小学生への憧れや小学校生活への期待感をもつことができ、幼稚園での学びと育ちを小学校生活に大切につないでいくことに結びつくと考えています。

また、昨年度試行した長期休業中の預かり保育については、本年度夏季休業から実施します。子どもたちの園生活の様子を写真でお知らせする「元気っ子だより」もより良い内容を目指して毎月更新していきます。ぜひご覧になってください。(桂川町公式HP↓子育て・教育↓桂川幼稚園↓「元気っ子だより」で見ることができます。)

さらに、教職員の資質・能力を高めるための研修も計画的に行い、子どもたちに生きる力の基礎を育むことを目標に、教職員一同子どもたちに負けない明るさと元気で幼稚園教育を進めていきます。

本年度も地域や保護者の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いたします。



〈楽しく数のお勉強〉



〈小学校の給食はおいしいよ〉